

あのね

2024

2

あのね
2024年 2月号
通巻377号
発行 福音館書店 宣伝課

今月の新刊『ぼくは ふね』は、絵本作家として50年、350作品以上を世に送りだしてきた五味太郎さんの集大成となる作品です。ひとはひと、自分は自分。まわりと比べる必要も、まわりと同じ必要もない。ちいさな船が主人公のお話は、子どもから大人まで誰もが共感できる一冊です。新作の刊行に寄せて、五味さんに作品に込めた思いを綴っていただきました。



そして「ぼくは ふね」

五味太郎



『ぼくは ふね』

五味太郎 作
定価1,980円(税込)
25×25cm/32ページ
5・6才から

内容紹介



ちいさな船が海を進んでいくと、嵐がやってきて海は大荒れに。ヘリコプターに吊り上げられて助けられますが、地面の上に置かれてしまい、もうどこへも行けない、おしまいだとなげきます。そこへ他の船がやってきて「その気になれば、どこだって進めるものだよ」と声をかけます。ちいさな船はその気になって、山や畑、街の中をどんどん進みます。絵本作家として50年、五味太郎さんの集大成作品です。

『正しい暮らし方読本』という素敵な絵本の中に、あ、僕が描いた絵本なのですが、「正しいタコのあげ方」という項目があります。「タコあげ」についての考察なのですが、タコあげがだんだん上手になって、大きいタコや凝ったタコをあげるようになるのは、それなりに楽しくていいのですが、タコあげの真髄というやつはそういうことではなく、タコに自分の気持ちを託する、つまり自分かわりにタコに空を泳いでもらう、でき得れば自分が風によって空を漂ってみたいんだよね……！ と言いたいわけなのです。

この項目はそんな僕好みの気持ちのやりとりを直接描いたわけですが、考えてみたら僕の描く絵本はほとんどそんな感じなのです。『きんぎょが にげた』のきんぎょしかり、『ぼったくん』のぼったしかり、『かぶさんとんだ』のかぶさんしかり。みんな僕の気持ちなんですね。自身であのような遊びがたくて、それをきんぎょなり、ぼったなり、かぶなりに託しているのでしょう。僕が直接やったらあのきんぎょみたいに見事なかわれんぼはできないし、ぼったみたいにやったらただの不法侵入ですものね。かぶさんの場合は仲間といっしょにタコあげ状態になりたいわけなのでしょう。つまりは、そんな僕の生まれつきのクセのようなものをそのまま持ちこんで遊んでいられる絵本という存在は、僕にとってとても

便利で使い勝手の良い有難い世界というわけです。こんなに気楽に自由に遊んでいられる場所はちょっと他には見当たりません。

そんなわけで次々と、絵本をかなりたくさん描いてきたわけですが、最近あらためて『ぼくは ふね』という作品を作ってみました。つまりは、「ぼくは きんぎょ」「ぼくは ぼった」「ぼくは かぶ」ということだったのだよね、などとあらためて気がついたあたりで、やや積極的に「ぼく」を意識して描いてみようと思ったのでしょうか。もちろん、その考えが中心にあったわけではなく、いつものようになんとなく描き始めたのですが、設定が設定だけに否応なく「ぼく」を意識して描くわけですから、ごく自然に「ぼくの人生」のような気配が出て来るを得ませんでした。「ぼくは ふね」であって「ふねは ぼく」ということになってしまうわけですね。敢て言えば少し独白みたいところがあって、きんぎょやぼったに気持ちを託すというような間接的な表現ではない、少し直接的な気配が漂ってしまうのです。

とは言え、それはこの絵本だけの話で、自身の人生を総括しようなんてことでは決してありませんから、御安心ください。画業50周年なんていう世間のうわさに、少し調子を合わせて、やや人生論的な雰囲気漂わせてみせただけの話。51周年からはまたあらためて、楽しくて愉快でちょっとお洒落な絵本をまた描くのでしょう。どうぞ楽しみにしててください。よろしく。

あわせてどうぞ！

ごみたらう●1945年生まれ。工業デザイナーを経て絵本の世界へ。サンケイ児童出版文化賞、東燃ゼネラル児童文化賞、ポローニャ国際絵本原画展などで数多くの賞を受賞。絵本に『きんぎょが にげた』『ひよこは にげます』『かぶさん とんだ』『さんぼのしるし』『ぼったくん』『みんなうち』『からだの みなさん』『どこまで ゆくの?』(以上、福音館書店)『まどから おくりもの』『仔牛の春』『つくえはつくえ』(以上、偕成社)『かくしたの だあれ』『たべたの だあれ』(ともに文化出版局)『さる・るるる』(絵本館)『らくがき絵本』シリーズ(ブロンズ新社)など多数。絵本論『絵本をよんでみる』(平凡社)、絵本の仕事をまとめた『五味太郎絵本図録』(青幻舎)がある。



『正しい暮らし方読本』
五味太郎 作
定価1,650円(税込)
30×23cm/52ページ
5・6才から



『きんぎょが にげた』
五味太郎 作
定価990円(税込)
22×21cm/24ページ
2才から



『ぼったくん』
五味太郎 作
定価990円(税込)
22×21cm/24ページ
2才から



『かぶさん とんだ』
五味太郎 作
定価990円(税込)
22×21cm/24ページ
2才から



やぎゅうげんいちろうのからだの絵本

4さいから



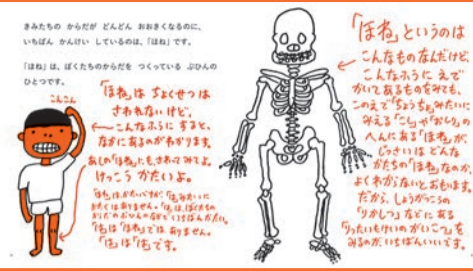
ねえ、あんたたちがおおきくおなまをいって、おまわらない?

2月の新刊『せがのびる』は、「どうして背が伸びるの?」という疑問に、のびやかな絵で楽しくこたえる絵本です。作者のやぎゅうげんいちろうさんは、からだのしくみを分かりやすい言葉と楽しい絵で、ユーモアたっぷりに解き明かす絵本をたくさん描かれています。からだに興味を持ちはじめた子どもたちにぴったりの絵本をご紹介します。



新刊

なぜ背は伸びる? ユーモアたっぷりに解明します



せがのびる やぎゅうげんいちろう 作 定価1,100円(税込) 28ページ 背が伸びる仕組みや背についての疑問を、ユーモアたっぷりの楽しい絵で解き明かします。日々成長する子どもたちを応援する絵本。



はなのあなのはなし 鼻の穴にまつわる大事な話を楽しく解説 やぎゅうげんいちろう 作/定価990円(税込)/28ページ さあ、あつこちゃんも、おじいちゃんも、動物園のゾウさんもイルカ君も、上を向いて鼻の穴を見せて! 鼻の役割を絵ときます。



あしのうらはなし 足の裏の機能から人間の進化、土踏まずまで やぎゅうげんいちろう 作/定価1,100円(税込)/28ページ 足の裏のふちをなぞって、大きさを比べてみよう。馬の足の裏と、どれくらい大きか? ゴリラの足の裏は? 足の裏の機能と進化を考えます。



おっぱいのひみつ 子どもたちが知りたいおっぱいを楽しく解説 やぎゅうげんいちろう 作/定価1,100円(税込)/28ページ どうして女の人のおっぱいは大きい? それは、赤ちゃんにお乳をあげるため。子どもたちの素朴な疑問に明快に答えます。



かさぶたくん かさぶたの役目を楽しく愉快地にときあかす やぎゅうげんいちろう 作/定価990円(税込)/28ページ かさぶたって、血でできた傷のふたなんだよ。ほら、かさぶたの下では新しい皮膚がどんどん作られているよ! 楽しい科学絵本。



おへそひみつ おへそって、なんだろう? 秘密を愉快地に伝えます やぎゅうげんいちろう 作/定価1,100円(税込)/28ページ 「おへそ」ってなんだろう? おなかの飾り? おへその役割と母から受け継がれる生命のすばらしさを愉快地に温かく伝えます。



はらぺこさん みんなでなろう「はらぺこさん」! やぎゅうげんいちろう 作/定価1,100円(税込)/28ページ 体の燃料が足りなくなると、はらぺこさんになります。はらぺこさんになるのは実は大事なこと。どうして大事なのを考えてみよう。



かがくのとも きゅうきゅうばこ 新版 リニューアル! 子どもの応急手当の絵本 やぎゅうげんいちろう 作/定価1,100円(税込)/28ページ これは見て面白く、しかも役に立つ、子どもの応急手当の絵本。傷の処置法を現代医療に合わせてリニューアルした新版です。

2月の新刊



動物たちがカラフルな車に乗って走ります! ブルブルプブプー にごまりこ作 定価990円(税込)/20ページ 「ねこのくるま プブプー」「いぬのくるま プブプー」。動物たちがカラフルな車に乗って登場する、楽しい乗り物絵本。



おでかけ版 手のひらサイズの 2冊、同時に登場! かくれんぼ かくれんぼ おでかけ版 2冊、同時に登場! 手のひらサイズの 2冊、同時に登場! かくれんぼ かくれんぼ おでかけ版 2冊、同時に登場! 手のひらサイズの 2冊、同時に登場!

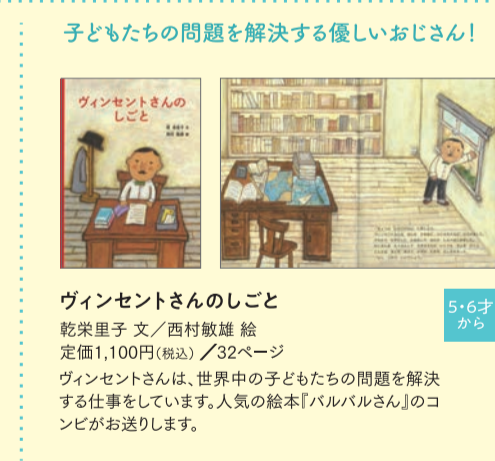
おでかけ版 きょうは おやすみします きょうは おやすみします ぼそわてんこちゃん ぼそわてんこちゃん ある日「今日は学校に行きたくない」と思ったてんこちゃんが家族にそう伝えると……。子どもの心にそっと寄りそうお話第2弾。



身近な生き物や小さな命に親しみ5冊セット 限定出版 身近な生き物や小さな命に親しみ5冊セット 限定出版 身近な生き物や小さな命に親しみ5冊セット 限定出版



りんごりらっば りんごりらっば あべけんじ 作/定価1,100円(税込)/32ページ 「りんごと」「ごら」で「りんごら」。「らっば」も加えて「りんごりらっば」。どんどんつながる、楽しいことば遊び。



子どもたちの問題を解決する優しいおじさん! ヴィンセントさんのしごと ヴィンセントさんは、世界中の子どもたちの問題を解決する仕事をしています。人気の絵本『バルバルさん』のコンビがお送りします。

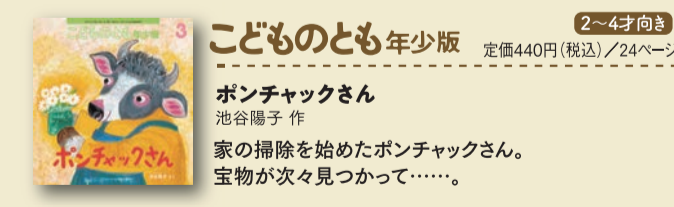


なんとなく行きたくない...そんな日もあるよね きょうはおやすみします ぼそわてんこちゃん ある日「今日は学校に行きたくない」と思ったてんこちゃんが家族にそう伝えると……。子どもの心にそっと寄りそうお話第2弾。

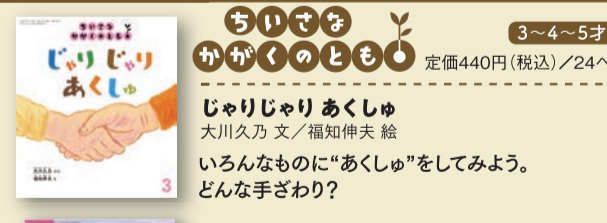
福音館の月刊誌 3月号のご紹介



かがくのとも 5~6才向き 定価440円(税込)/28ページ ぼうとぼう まるてんてんのまき 織田道代文/早川純子 絵



こどものとも 年少版 2~4才向き 定価440円(税込)/24ページ ポンチャックさん 池谷陽子 作 家の掃除を始めたポンチャックさん。宝物が次々見つかって……。



こどものとも 年中向き 4~5才向き 定価440円(税込)/32ページ もじもじこぶくん ピンクのぼうし 小野寺悦子 文/きくちき 絵

